国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター

Recruiting Guidebook

森と水と時を
つなぐ仕事。

森と水と時を
つなぐ仕事。

私たち森林整備センターは、水源林造成事業を行っています。

水源林とは、「緑のダム」と呼ばれるように、水を蓄え、供給するために育てられた森林のこと。飲料水などの欠かせない生活用水として、長い時間をかけて川へと浸み出し、私たちの暮らしに届きます。荒廃した森林に、新たな木を植えて育て、再生していくには、長い年月を要します。

それでも水源林を育てるのは、暮らしを守り、洪水や土砂災害から人々を守り、さらには地球環境を守っていくものだから。

私たちの世代から次の世代へ。長い時間をかけて、森を、水を、現在から未来へ「つなぐ」仕事。それが森林整備センターの仕事です。

日本の豊かな緑をはぐくみ、水をつくるため、ともに働きませんか！

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター所長
志知　雄一

森林は、水源として水を蓄えるとともに、河川を通じて、都市や農地、そして海につながっています。森林が荒れると、土砂の流出などにより、国民の生命財産に影響を与えることにもなりかねません。

そのほか、豊かな森林は良質な水の供給、今世界的な問題となっている二酸化炭素の吸収などの公益的機能について、大きな役割を果たしています。

我々森林整備センターの仕事は、ダムの上流域などの水源涵（かん）養上重要な地域であるものの、荒廃している場所を対象とし、所有者の方や実際に作業を行う造林者の方と契約して、そこに水源林を整備していくことです。

この水源林造成事業は約60年の歴史があり、これまでに全国に49万ｈａ（民有保安林の1割）の森林を整備してきました。

一方、これからの森林のあり方を考えると、近年、自然災害が激しくなる中、国土保全に不可欠な森林の整備・保全の必要性はますます高まっています。

同時に、地球温暖化対策に重要な二酸化炭素の吸収源として、不足が懸念される木材供給の源として、我が国の森林は今後も一層重要性を増していくものと考えています。

このような国民の大きな期待に応えていくため、森林整備センターでは、これまで以上に、社会のニーズや森林・林業の動向をとらえ、場所によって異なる現場の状況を知り、地域社会や住民の皆様のご理解・ご協力を得ていくことが求められています。

山元の方々は、苗を持って山道を歩き、足場が悪い急斜面で、植林を行い、苗木に草が被らないように下草を刈る、チェーンソーや重機を使った伐倒、集材、搬出作業を行うなどの重労働を担われています。

森林整備に対する使命感を持つとともに、こうした山の仕事を理解し、山元の方々から信頼を得て話をすることができる、そういう方と我々はともに働きたいと思っています。

概要・組織図

概　要

- 所在地　〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2号（興和川崎西口ビル11階）
- 代表電話　044-543-2500
- 設立　2008年(平成20年)4月1日
- 代表者　森林整備センター所長　志知　雄一
- 職員数　347名(令和3年4月1日現在)
- 事業内容　水源林造成事業
  特定中山間保全整備事業 等
- 事業所　整備センター、整備局(6拠点)、水源林整備事務所(32拠点)

組 織 図

国立研究開発法人 森林研究・整備機構

- 森林総合研究所
- 森林総合研究所林木育種センター
- 森林総合研究所森林バイオ研究センター
- 森林整備センター
  - 森　林　管　理　部
  - 森　林　業　務　部
  - 監査・コンプライアンス室
  - 東北北海道整備局 …… 水源林整備事務所（北海道・青森・盛岡・秋田・山形）
  - 関　東　整　備　局 …… 水源林整備事務所（福島・宇都宮・前橋・新潟・甲府・静岡）
  - 中　部　整　備　局 …… 水源林整備事務所（富山・長野・岐阜・津）
  - 近畿北陸整備局 …… 水源林整備事務所（金沢・福井・神戸・奈良・和歌山）
  - 中国四国整備局 …… 水源林整備事務所（鳥取・松江・広島・山口・徳島・松山・高知）
  - 九　州　整　備　局 …… 水源林整備事務所（佐賀・熊本・大分・宮崎・鹿児島）
- 森林保険センター

持続可能な開発目標（SDGs）への貢献

2015年の国連サミットでは、持続可能な開発のための2030アジェンダが採択され、2016年から2030年までの国際目標として、持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットから構成される、持続可能な開発目標(SDGs)が示されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

当センターが取り組む目標

森林整備センターは、森林の造成や整備を通じて、SDGｓの達成に貢献してまいります。

水源林造成事業

国民生活に不可欠な、良質で豊かな水の供給や国民の生命・財産を守るため水源地域で森林を造成

全国で約49万haの水源林を造成

森林整備センターは、ダムの上流域などの水源涵養上重要な奥地水源地域の民有保安林内で水源林を造成し整備する業務を行っています。これまで、全国で約49万haの水源林を造成してきました。これは、日本の民有保安林の約1割に相当し、国民の皆様の生活に不可欠な水源の涵養、国土保全等に大きく役立っています。
水源林造成事業は、森林・林業基本計画（令和3年6月閣議決定）の中で、公的な関与による森林整備を担うものとして位置づけられており、引き続き、公益的機能の発揮を確保するためのセーフティーネットとして貢献していきます。

― 水源林とは ―

森林には、水を蓄えることのできる機能があり、このような森林を水源林と呼びます。
水源林は、「緑のダム」として、洪水や土砂崩れなどの自然災害を防いだり、地球温暖化の防止に役立ったりしています。
また、降った雨水が浸みこんでいく時に、ゴミなどを取り除き、きれいにして川へ流す働きもあります。

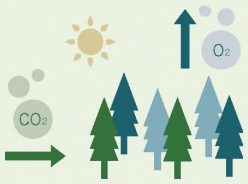
数字で見る水源林造成事業の効果

水源林の公益的機能の効果額は、貨幣換算可能なものを試算しただけでも　年間約8,700億円

水源涵養効果
- 良質で豊かな水を供給
- 洪水防止や水質の浄化

年間約
30億㎥
を貯水
東京都で使う約2年分の水量に相当

環境保全効果
- 二酸化炭素の吸収
- 酸素の放出・大気浄化への寄与



年間約
236万トン
の二酸化炭素を吸収
約167万世帯が1年間に消費する電力の発電時に排出されるCO2量に相当

山地保全効果
- 土砂の流出・崩壊の防止
- 災害に強い森林整備

毎年約
8,900万㎥
の土砂流出を防止
東京ドーム約72杯分

地域振興への貢献
- 山村地域の人々の仕事場となり、地域振興に貢献

年間延べ約
61万人
の雇用

※ 公益的機能の効果額は、昭和36年度から令和2年度までの60年間に造成された水源林造成事業地全体が令和2年度の1年間に発揮した「水源涵養効果」「環境保全効果」「山地保全効果」を試算しています。

全国に広がる水源林造成事業

分布図・管轄区域

森林整備センターは、沖縄県を除く
全国46都道府県で業務を実施しています。

水源林造成業務の契約地 … ●

【令和2年度末】

総面積 485,693ha

※ 約49万haは東京都と神奈川県の
合計面積に相当する面積です。

森と水と時をつなぐ。

森林管理部 財務課

恒見 隆太

Profile

大学では農学部に所属し環境や森林資源について学んでいたことから、水源林造成事業に興味を持ち、転職活動ののち平成27年より勤務。現在は、本部で財務を担当する。

15:30
林野庁の担当者と
補助金申請について
電話で問い合わせ

16:00
予算データの集計

17:45
退社

13:00
関連部署の担当者と
予算の進捗状況について
打ち合わせ

12:00
お昼休憩

20:00
夕食

21:00
自由時間

10:00
全国の現場事務所
から届いた
予算データを集計

9:00
メールの確認・返信

8:40
出社

24:00
就寝

自分の足跡が何十年と残される
責任とやりがいを感じられる仕事です。

現在は、国への補助金申請や実績報告、予算管理、収支決算と大きく分けて3つの業務を担当しています。一人だけの係のため着任時は不安でしたが、森林整備センターはフォローし合う風潮が強く、先輩からのバックアップがあったり、不明点を積極的に聞いてまわったりすることで問題を一人で抱え込まずに乗り越えることができました。心がけているのは、多くの人と会話をすること。全国の担当者とやり取りしている中で、事務所からの予算申請が必要であることに気づき、コミュニケーションと情報収集が仕事をスムーズに進める上で欠かせないと感じています。

森林整備センターの事業は、契約から主伐まで何十年とかかります。税金を使った事業に自分の足跡が何十年と残されることを考えると、責任とともにやりがいを感じています。全国転勤は大変なこともありますが、旅行では味わえない土地の人々との関わりがあり、その経験が自分のひとつの財産になっています。

森と水と時をつなぐ。

森林業務部 森林事業課

那須野 俊

Profile

自然にまつわる仕事に就きたいという思いから農学部進学の後、平成17年度に入職。12年間現地の水源林整備事務所で経験を積んだ後、本部勤務に。

8:40
出社

9:00
森林事業課全員で次年度の予算について打ち合わせ

10:00
予算関連の規程改正について社内で打ち合わせ

11:00
予算関連の書類作成

12:00
お昼休憩

14:00
顧問弁護士との打ち合わせ

15:30
事務所に戻り午前中に続いて予算関連資料の作成

17:45
退社

19:30
夕食

21:00
自由時間

24:00
就寝

造林予算管理の仕事にも活かされる現場での経験は貴重な財産です。

私が担当する造林係では、森林の造成のために必要な事業予算を各整備局に配付し、配付した予算の進捗管理を行っています。造林作業はすべてセンター内の規程に基づき進められますが、現場の声をよく聴き、現在の状況にそぐわない規程の改正を行うのも大切な仕事です。

職場ではよく議論することが良しとされる風潮があるので、とても働きやすいです。「山に行って損をすることはひとつもない」とは、入職した当時の先輩に言われた言葉です。その言葉の通りに、現場では山に通い、造林者の方や所有者の方とも山の中で話をするようにしていました。そうすると思わぬ本音が聞けたり、山の良さや問題点が見えてきたりと、身になる経験を積むことができました。現在の職務も、現場での経験がなければできなかった仕事だと思っています。

造林は何十年単位で時間がかかる息の長い仕事です。間伐するときに50年前にご自身で植栽したという方に出会ったこともあります。「山が良くなって感謝している」という言葉を掛けられたときは、スケールの大きなこの仕事に携われて良かったと心から感じました。

森と水と時をつなぐ。

森林業務部 森林企画課

佐藤 優

Profile

平成27年入職。岐阜水源林整備事務所で勤務後、平成31年4月より本部の森林企画課に所属。現場の山を歩けるように、今も体力維持を心掛けている。

15:00
予算要求資料について
チェックと修正

13:00
来年度予算要求
資料の作成

12:00
お昼休憩

17:45
退社

20:00
夕食

21:00
自由時間

23:00
就寝

8:40
出社

9:00
メールの確認・返信

9:30
来年度事業
について
他部門の担当に
ヒアリング

事業予算の調整を通して、現場と当センターの未来を考える仕事です。

担当業務で難しいと感じるのが事業関係の年度予算の調整です。予算が限られる中、組織の方針や各水源林整備事務所の実情などを調整して林野庁に予算要求し、その上で、措置された予算の範囲で年度の予算計画としてまとめ上げなければなりません。各地の水源林をどう育てていくか、そのために当センターがどのように役割を果たしていくのか、未来を常に意識しつつ、多方面から聞き取りを行い、解決の糸口を見つけるようにしています。

現在の職務を担当してまだ9カ月。それまでは岐阜の水源林整備事務所で山に入って仕事をしていたため、環境も業務内容も大きく変わりました。ですが、本部職員のほとんどが転勤を経て本部での業務に就いているため、馴染みやすく、相談しやすい雰囲気があります。前に所属していた事務所でも、最初の1年間は先輩職員にほぼマンツーマンで教えていただいたり、慣れない山歩きで遅れを取っていたときに励ましていただいたりと、多くの助言と指導をいただいてきました。面倒見の良さは本部も現場事務所も同じです。赴任先が変わっても、不安なく勤務できる良好な職場環境があるのは、当センターの特長だと感じています。

森と水と時をつなぐ。

森林管理部 企画管理課

小林 俊大

Profile

平成15年に入職。中国四国整備局で勤務後に、7年前より企画管理課に所属。公式サイトのリニューアルやネットワーク設備の移設などを手掛ける。

16:00
ホームページの掲載作業

17:45
退社

13:00
各部署から提出された中長期計画・次年度計画や実績評価の取りまとめ作業

12:00
お昼休憩

11:00
公式サイトに掲載するページについて担当者とミーティング

20:30
夕食

21:00
自由時間

9:00
監督官庁からの照会事項を確認後、関係部署の担当者へ連絡して対応を依頼

8:40
出社

23:00
就寝

挑戦を受け入れてくれる組織に貢献できる人材でありたい。

私が担当する企画係では、中長期計画の策定・評価、公式サイトやパンフレットの作成などの広報事務、監督官庁やセンター内各部署の調整を課内の担当メンバーとともに行っています。基本方針や計画の策定は、組織の持続的成長に必要なことであり、また、広報で使用するサイトやパンフレットなどはセンターの事業を広く知っていただくためのツールとして重要なため、日々意義を感じて業務に当たっています。

平成29年度に担当した公式サイトのリニューアルは、実は採用当時から取り組みたいと思っていたものでした。一般の方にも興味を持っていただけるサイトという私のプランは、国の政策実施機関としてはチャレンジではありましたが、上司にも支持していただき実現することができました。主体性を持って実行する仕事のおもしろさを感じるとともに、挑戦を受け入れてくれる組織であることを改めて感じた仕事でした。

私たちが実施する水源林造成事業は、日本の水と森林を現在から未来へつないでいく意義のあるものです。これからも与えられた職務の中で、組織に貢献できる仕事を主体的に考えながら、取り組んでいきたいと思います。

森と水と時をつなぐ。

関東整備局水源林業務課

田中 浩二

Profile

先輩に誘われ高校卒業後に入職。17年間、主に西日本の水源林整備事務所に勤務し、造林の現場に携わる。現在は、事務所を統括する整備局に勤務。

13:00
水源林調査結果
資料の作成

16:00
整備局内で
打ち合わせ

17:45
退社

19:00
夕食

12:00
お昼休憩

20:00
自由時間

9:10
獣害対策の
指導用資料の作成

9:00
ホワイトボードで
整備局内の
今日の予定を確認

8:40
出社

24:00
就寝

作業日の様子

荒れた林が、青々とした森になる
そんな山を見られるのが、この仕事の醍醐味です。

この仕事に就いて20年。最初の17年間は、現場である水源林整備事務所に勤務していたので、入職した当初には荒れていた林が、時を経て青々とした森になっているのを見られるようになりました。当時意見を戦わせながら一緒に山に入っていた造林者の方とともに、そのような森を見るときは格別で「あなたが担当してくれてよかった」と言っていただけることも。最も感動し達成感を感じる瞬間です。

今は、獣害被害の減少に向けて管轄する6つの水源林整備事務所への指導などを行っています。造林者の高齢化などの人材不足や、これまで勤務していた西日本との林業文化の違いなど壁にぶつかることも多々ありますが、「良い山になったね」と言っていただけるよう、日々努力しています。私が前向きに仕事ができるのは、職場の雰囲気がとてもよく、公私の隔てなく相談できる先輩方がいるからこそ。バックアップしていただけるので、失敗を恐れずにチャレンジしています。

もともと自然にも山にも興味がなかった私ですが、今はデスクワークの時間が長く感じるほど山での時間が親しみ深いものになりました。豊かな自然を感じたり、野生動物に会えたりと、ほかの仕事にはない体験ができるのもこの仕事の魅力です。

森と水と時をつなぐ人。

宇都宮水源林整備事務所

清野 陽介

Profile

自然豊かな環境に育ったことをきっかけに、大学では森林環境について学び、平成24年度に入職。中国四国整備局、甲府水源林整備事務所などを経て現職。

13:00
引き続き水源林を調査

GPSを携行し、
現在地を確認しながら
林内を調査

16:00
事務所に戻り
調査内容の
報告書類を作成

17:15
退社

12:00
水源林内で
造林者とともに
お昼休憩

19:00
夕食

20:00
自由時間

24:00
就寝

9:30
担当エリアの水源林で
造林者とともに
現地調査

「おかげで良い山になったよ」と言っていただけるのが何よりの喜びです。

現場作業をしている造林者の方とともに、現地調査を行い、必要な施業を決め、現地施業完了後には検査を行うのが私の仕事です。入職した当時は、山に入ってもどのような施業が必要なのかがわかりませんでしたが、基本的には先輩と行動を共にしているため、話を聞きながら経験を積むことができました。今では、山の状況を見極め、どのような手入れが必要か造林者の方々と建設的な話ができるようになりました。「センターのおかげで手入れができてよかった」と造林者や山の所有者の方に言っていただけたときは、喜びを感じるとともに、これから先も続いていく森林造りに責任を持ち、地域のために貢献していきたいと感じています。

現在在職している事務所は5名と小人数ですが、互いにカバーし合い仕事を進めています。業務上で問題が生じたときにも、相談しやすい環境のため一人で抱え込むようなことがないのはありがたいですね。

大変なことはたくさんありますが、自然が好きだったため、山の中での仕事はリフレッシュにもなっています。自然の中で働くことに興味がある方にはぴったりの職場だと思います。

福利厚生

自己啓発支援制度

入社後、業務に密接な関連を有する資格を職員が取得した場合、当該受験料の全額及びその資格を得るための登録料を2分の1の額を補助します。

資格例

日商簿記検定、社会保険労務士、ビジネス実務法務検定、林業技士、危険物取扱者、測量士、技術士、森林総合監理士など

住宅に関する諸制度

全国転勤に対応するため、職員宿舎制度を整えています。宿舎を保有する他、保有宿舎のない勤務地には借上宿舎を手配し貸与します。

出産・育児・介護に関する諸制度

森林整備センターでは、ライフスタイルに応じた様々な支援制度が整備されており、仕事と家庭の両立支援を目指しております。男性職員も取得できるのも特徴です。

制度例

産前・産後の休暇、育児休業、育児短時間勤務、育児時間、子の看護休暇、介護休暇、介護休業など

育休取得者よりcomment

長女が7ヶ月になるまで約5ヶ月間育休を取得し、復帰後は1歳になるまで保育時間を取得しながら勤務していました。森林整備センターは、仕事と家庭を両立しやすいよう職場の環境づくりに取り組んでいるので、安心して制度を利用できましたし、上司の理解や周囲のサポートには大変助けられました。時間に制約があるため、仕事や家事を効率よくできるよう、時間の使い方やチーム連携を心がけながら、両立を続けています。

森林業務部 森林企画課　分収林契約係　霜越 さや香

長男（4歳3ヶ月）、長女（8ヶ月）の時に2ヶ月の育休を取得しました。私が休むことで負担をかけることになった方もいますが、先輩お父さん達からは、温かい応援の言葉をたくさんいただきました。

本人の病気や家族の介護などで長期に休む可能性は誰にもあります。そのような時に、みんなでカバーできる組織であるため、まずは希望すれば誰でも育休を取得できるようにしたいです。

森林業務部 森林企画課　評価係　長谷 潔

研修制度

新人研修

新規採用職員を対象に、今後、業務上必要となる森林整備センター事業に関する基礎知識の習得、社会人としてのビジネスマナーやコミュニケーションスキルの向上を図ります。

階級別研修

入社後の職務の階層（係員、主任、係長、管理職）に合わせて、それぞれの階層に求められる知識の習得を目的として研修を実施し、キャリアを重ねた後も充実した研修によるサポートを行っています。

入社 1年目

「なぜ？」と自ら考える習慣がついた1年。

総務課経理係に所属しており、毎月の支払いに関わる書類の整理や資金の確認など、主に支払いに関する業務を行っています。

今後は自分の係のことだけでなく、全体を見て仕事のできる人になりたいと思っています。そのためにも、自分の係ではない書類もしっかり見ることを心がけたり、疑問点は先輩方に質問し、理解を深めています。先輩方は私の質問に対し、とても丁寧に答えてくださり、ただ教えるだけではなく「なぜ?」と考える時間を作ってくれます。そのおかげで、自ら考える力が培われたと感じています。

関東整備局 総務課 経理係
濱口 紗季

入社 14年目

どんな状況にも対応できる「意識の持ち方」を学びました。

森林業務部森林企画課評価係で水源林造成事業の事業評価関係の業務を行っています。

水源林造成事業は、地域の人々と連携し森林を造成する事業。森林をフィールドとしているため、現地の状況はさまざまです。上司や先輩からは、調査手法などの「技術」だけではなく、状況に応じた確認するべきポイントなど「意識の持ち方」を習得しました。また、関係者と円滑にコミュニケーションを取る必要があることから、上司や先輩に倣いつつ自分に合った方法を取れるよう意識していました。

森林業務部 森林企画課　評価係
長谷 潔

これまでのキャリア

H18年~H19年	旧広島地方建設部工事係
H19年~H20年	森林業務部林道企画課調査係
H20年~H26年	中国四国整備局山口水源林整備事務所業務係・造林係
H26年~H28年	森林業務部森林企画課予算調整係
H28年~H31年	林野庁森林整備部整備課業務管理班業務調整係
H31年~	現職

Career paths
キャリアパス

さまざまなキャリアを持つ6名の職員をご紹介します。

入社 1年目

環境が変わっても大丈夫！という自信がつきました。

関東整備局水源林業務課分収林契約係として、契約関係業務、現地調査、現地検査などを行っています。

はじめは仕事だけではなく、社会人としても分からないことばかりでしたが、先輩方が仕事の内容から社会人としてのマナーまで丁寧に教えてくださったおかげで、とても働きやすくなりました。

また、次の転勤先で困ることがないように、今の係の仕事以外にも、他の係の仕事や色々な現場を学ばせてくださったので、2年目から環境が変わることへの不安が減り、契約関係以外にも仕事ができるという自信がつきました。

関東整備局 水源林業務課　分収林契約係
長柄 豊

入社 5年目

日々の地道な勉強が仕事をさらに楽しくする。

森林整備センターに就職するまでは、経理についての知識がほぼゼロでした。しかし、経理業務を担当するにあたり、仕分けや会計の知識の必要性を実感し、簿記の学習を始めました。知識がつくと、日々の業務と学習した内容が繋がることもあり、面白く感じるようになりました。

社会人になると、まとまった勉強時間をとることは難しいですが、隙間時間を縫って、関連する書籍を読んだりしています。

何事も新しいことを始める時は、不安を感じると思いますが、森林整備センターには頼れる先輩がたくさんいます。ぜひ、一緒に頑張りましょう!

森林管理部 資金会計課　出納係
菊池 あゆみ

これまでのキャリア

H27年~H28年	東北北海道整備局総務課経理係
H28年~H30年	森林管理部企画管理課総務係
H30年~	現職

入社 7年目

私のやる気以上のサポートをしてくれる先輩方。

森林業務部森林事業課造林係で水源林造成事業について、各整備局、各事務所で業務が円滑に進むようサポートしています。先輩方は、私の疑問に対し丁寧に答えてくれます。現場に連れ出し、造林者との仲介をしてくれたり、現場でのポイントを教えてくれました。後輩のやる気に対し、それ以上のサポート・応援をしてくれると思います。

「林業や自然環境の勉強をしてこなかった」と思っているそこのあなた!会社に入ってから覚えても遅くありません。あなたのやる気に 森林整備センター職員一同がサポートします。

森林業務部 森林事業課　造林係
西島 麻衣

これまでのキャリア

H25年~H26年	中国四国整備局水源林業務課分収林契約係
H26年~H28年	近畿北陸整備局神戸水源林整備事務所分収林契約係・造林係
H28年~H30年	森林業務部森林企画課企画係・予算調整係
H30年~	現職

入社 15年目

積極性があれば経験がなくても仕事を任せてもらえる！

森林管理部財務課森林計理係で決算及び財務諸表等の作成などを行っています。

積極性があれば、経験の有無を問わず、多種多様な仕事を任せてもらえ、上司や、同僚がバックアップしてくれます。事務系職員も、水源林造成事業という林業の現場に直接触れる機会ばかりなので、仕事をしていく中で、自然環境保全に貢献しているという自負や誇りのある仕事に携わっているという実感を持てるかと思います。

まずは、やってみる、挑戦してみる、体験してみるという積極的な姿勢とチャレンジ精神を大切にしてもらいたいと思います。

森林管理部 財務課　森林計理係
横山 俊輔

これまでのキャリア

H17年~H20年	中部整備局長野水源林整備事務所総務係
H20年~H24年	東北北海道整備局札幌水源林整備事務所総務係
H24年~H29年	森林管理部資金会計課出納係・資金係・資産管理係
H29年~	現職

掲載している職員の情報は令和2年2月時点のものです。

■ 東北北海道整備局　〒980-0011
宮城県仙台市青葉区上杉5丁目3番36号（第三勝山ビル2階）
TEL：022-723-8808　FAX：022-723-8810

■ 関東整備局　〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2号（興和川崎西口ビル11階）
TEL：044-542-5545　FAX：044-541-3017

■ 中部整備局　〒460-0003
愛知県名古屋市中区錦1丁目10番20号（アーバンネット伏見ビル4階）
TEL：052-220-2570　FAX：052-211-2550

■ 近畿北陸整備局　〒600-8372
京都府京都市下京区五条通大宮南門前町480番（富士火災京都ビル3階）
TEL：075-278-8855（代）　FAX：075-278-8858

■ 中国四国整備局　〒700-0907
岡山県岡山市北区下石井2丁目1番3号（岡山第一生命ビル7階）
TEL：086-226-3295　FAX：086-231-6344

■ 九州整備局　〒812-0011
福岡県福岡市博多区博多駅前3丁目2番1号（日本生命博多駅前ビル4階）
TEL：092-433-1422　FAX：092-433-1427

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林整備センター

〒212-0013
神奈川県川崎市幸区堀川町66番地2号
（興和川崎西口ビル11階）
TEL：044-543-2500

森林整備センター
ホームページ

リサイクル適性Ⓐ
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

R80
古紙パルプ配合率80％再生紙を使用